



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東
コード番号 4310 URL <http://www.dreamincubator.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)堀 紘一
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)原田 哲郎 (TEL) (03) 5532-3200
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,306	205.7	120	233.1	114	295.2	76	—
23年3月期第1四半期	427	3.7	36	—	28	—	△218	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 204百万円(—%) 23年3月期第1四半期△277百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第1四半期	円 銭 794 51	円 銭 —
23年3月期第1四半期	△58 34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第1四半期	百万円 8,725	百万円 7,334	% 80.7
23年3月期	8,358	7,114	82.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,039百万円 23年3月期 6,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 0 00				
24年3月期	0 00				
24年3月期(予想)		0 00	0 00	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの事業は、コンサルティング事業及びベンチャー投資育成事業から構成されております。コンサルティング事業は安定性が高い一方、ベンチャー投資育成事業については売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただきます。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますので、ご参照下さい。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (—)、除外 一社 (—)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期1Q	95,811株	23年3月期	95,811株
24年3月期1Q	—株	23年3月期	—株
24年3月期1Q	95,811株	23年3月期1Q	95,588株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている次期の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。次期の見通しの前提となる条件及び次期の見通しのご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(4) 生産、受注及び販売の実績	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経営環境におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災とその後の電力供給の制約等により収縮した経済活動に持ち直しの動きが見られはじめたものの、景気の見通しは依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境下において、当社及び当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は1,306,898千円と前年同期と比べ879,401千円(205.7%)の増収、経常利益は114,445千円と前年同期と比べ85,538千円(295.2%)の増益、四半期純利益は76,122千円と前年同期と比べ294,627千円の増益となりました。

事業セグメント別の業績は、次の通りです。

a. コンサルティング事業

コンサルティング事業セグメントは、景気の見通しが不透明な状況下において、既存顧客である大企業への戦略コンサルティング売上計上が次四半期累計期間以降にずれ込んだ結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は286,745千円(前年同四半期は389,488千円)、セグメント損失(営業損失)は44,039千円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)137,992千円)となりました。

b. ベンチャー投資育成事業

ベンチャー投資育成事業は、保険事業、営業投資事業、その他事業の各セグメントにより構成されております。

保険事業セグメントには、株式会社アイペットが運営するペット医療向け保険が含まれ、当第1四半期連結累計期間においてペット医療向け保険の加入件数は順調に増加しました。また、株式会社アイペットの会計上のみなし取得日を前連結会計年度末としたことから、当第1四半期連結累計期間より損益を計上することとなり、その結果、売上高は723,300千円、セグメント利益(営業利益)は191,531千円となりました。

営業投資事業セグメントにおいては、既存投資先ベンチャーのうち、当社が深く支援することで成長加速が見込まれる先とそれ以外の先について選別し、集中すべき先については資金と人材を投入、それ以外については売却を進めました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は277,738千円(前年同四半期は38,008千円)、セグメント利益(営業利益)は9,739千円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)92,699千円)となりました。

その他事業セグメントには、連結子会社である株式会社リバリューが運営するリバースサプライチェーン事業等が含まれ、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,124千円、セグメント損失(営業損失)は36,991千円となりました。

区分	第11期 第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		第12期 第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
コンサルティング事業	389,488	91.1	286,745	21.9
保険事業	-	-	723,300	55.3
営業投資事業	38,008	8.9	277,728	21.3
その他事業	-	-	19,124	1.5
合計	427,496	100.0	1,306,898	100.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

a. 資産

当第1四半期連結累計期間末における資産残高は8,725,639千円(前連結会計年度末は8,358,488千円)となり、前連結会計年度末と比較して367,151千円増加しました。その内訳は流動資産104,600千円の増加と固定資産262,550千円の増加に分類されます。

流動資産増加の主な要因は、コンサルティングサービスに係る収入、保険料収入及び営業投資有価証券の売却等により現金及び預金が230,506千円増加したことなどが挙げられます。また固定資産の増加要因につきましては、本社移転により有形固定資産が138,661千円増加したことなどが挙げられます。

b. 負債

当第1四半期連結累計期間末における負債残高は1,390,822千円(前連結会計年度末は1,244,239千円)となり、前連結会計年度末と比較して146,583千円増加しました。増加要因につきましては、本社移転に関する支払債務計上、保険事業における保険契約準備金の増加などが挙げられます。

c. 純資産

当第1四半期連結累計期間末における純資産残高は7,334,817千円(前連結会計年度末は7,114,248千円)となり、前連結会計年度末と比較して220,568千円増加しました。増加要因につきましては、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益の計上及び株式会社アイペットにかかる少数株主持分の増加などが挙げられます。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

a. コンサルティング事業

当第1四半期連結累計期間における、コンサルティングサービス売上高の通期見込みに対する進捗は東日本大震災等の影響により若干遅れておりますが、現段階におきましては、通期で前連結会計年度から15%程度の売上高増加を見込んでおります。

b. ベンチャー投資育成事業

保険事業セグメント売上は、当第1四半期連結累計期間において順調に推移しており、通期では前連結会計年度に対して30%の売上高成長率を見込んでおります。

一方、営業投資事業セグメントにつきましては、数社の投資先がIPOを予定しておりますが、売上高が株式の売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴い振幅するため、業績の見通しは立てにくい状況が続くものと考えております。

(4) 生産、受注及び販売の実績

① 生産実績

当社は生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、営業投資事業につきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額(千円)	金額(千円)	
コンサルティング事業	212,550	510,200	140.0
保険事業	—	723,300	—
その他事業	—	19,711	—
合計	212,550	1,253,211	489.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コンサルティング事業	286,745	△26.4
保険事業	723,300	—
営業投資事業	277,728	630.7
その他事業	19,124	—
合計	1,306,898	205.7

(注) 上表金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 投資実績

証券種類	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)				当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (千円)	会社数 (社)	金額 (千円)	会社数 (社)	金額 (千円)	会社数 (社)	金額 (千円)	会社数 (社)
株式	81,623	3	2,984,451	53	—	—	2,786,751	51
新株予約権等	—	—	0	29	—	—	0	28
合計	81,623	3	2,984,451	68	—	—	2,786,751	64

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IPO企業の株式をIPO後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。
- 6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下の通りであります。

前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間
843,991千円	887,091千円

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、1株当たり純損失であるため、遡及処理による影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,145,436	3,375,942
売掛金	735,029	570,111
営業投資有価証券	2,855,891	2,803,045
投資損失引当金	△202,056	△202,056
たな卸資産	36,089	58,239
繰延税金資産	237,909	292,515
未収還付法人税等	5,314	5,537
その他	55,644	70,661
貸倒引当金	△15,982	△16,119
流動資産合計	6,853,277	6,957,878
固定資産		
有形固定資産	29,045	167,706
無形固定資産		
のれん	995,636	977,106
その他	57,028	49,743
無形固定資産合計	1,052,664	1,026,849
投資その他の資産		
投資有価証券	55,931	46,645
長期貸付金	61,800	61,750
その他	367,569	358,045
貸倒引当金	△61,800	△61,750
投資その他の資産合計	423,500	404,690
固定資産合計	1,505,210	1,599,246
繰延資産		
保険業法第113条繰延資産	—	168,515
繰延資産合計	—	168,515
資産合計	8,358,488	8,725,639

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	330	499
未払金	94,913	225,723
保険契約準備金	927,554	1,004,170
支払備金	116,309	123,389
責任準備金	811,244	880,781
未払法人税等	32,823	10,162
前受金	34,146	3,730
その他	154,471	146,536
流動負債合計	1,244,239	1,390,822
負債合計	1,244,239	1,390,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,615,585	4,615,585
資本剰余金	4,796,069	4,796,069
利益剰余金	△2,090,405	△2,014,282
株主資本合計	7,321,248	7,397,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△276,780	△237,136
為替換算調整勘定	△119,817	△120,610
その他の包括利益累計額合計	△396,598	△357,747
新株予約権	56,991	72,892
少数株主持分	132,607	222,300
純資産合計	7,114,248	7,334,817
負債純資産合計	8,358,488	8,725,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	427,496	1,306,898
売上原価	249,226	749,686
売上総利益	178,270	557,211
販売費及び一般管理費	142,177	436,972
営業利益	36,092	120,239
営業外収益		
受取利息	4,516	1,510
貸倒引当金戻入額	—	50
物品売却益	2,201	3,462
その他	16	206
営業外収益合計	6,733	5,230
営業外費用		
出資持分損失	13,103	2,823
為替差損	69	7,662
その他	695	487
営業外費用合計	13,868	10,973
経常利益	28,957	114,495
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,800	—
投資有価証券売却損	233,715	—
特別損失合計	246,515	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△217,557	114,495
法人税、住民税及び事業税	1,020	3,285
法人税等調整額	—	△54,605
法人税等合計	1,020	△51,320
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△218,577	165,816
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△72	89,693
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△218,504	76,122

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△218,577	165,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,192	39,643
為替換算調整勘定	3,286	△792
その他の包括利益合計	△58,906	38,851
四半期包括利益	△277,483	204,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△277,444	114,973
少数株主に係る四半期包括利益	△39	89,693

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	営業投資事業	コンサルティング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,008	389,488	427,496	—	427,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	38,008	389,488	427,496	—	427,496
セグメント利益又は損失(△)	△ 92,699	137,992	45,292	(9,200)	36,092

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、親会社本社の経営管理部門に係る費用9,200千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	コンサルティング 事業	保険事業	営業投資事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	286,745	723,300	277,728	1,287,774	19,124	1,306,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	286,745	723,300	277,728	1,287,774	19,124	1,306,898
セグメント利益又は 損失(△)	△44,039	191,531	9,739	157,230	△36,991	120,239

(注) 報告セグメント及びその他セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更

当第1四半期連結累計期間から、各事業セグメントへ直課できない営業費用の各事業セグメントへの配分方法を変更しております。これは、保険事業等の新しい事業の本格的な開始を機に、業績管理手法を見直したことによるものであります。

この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益の影響は、コンサルティング事業が67,807千円の減少、保険事業が1,635千円の減少、営業投資事業が70,961千円の増加となっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。